

奥能登未来創造センター（仮称）（設計・施工）整備工事 公募型プロポーザルに伴う要求水準書

1 要求水準書の意義

本要求水準書は「奥能登未来創造センター（仮称）（設計・施工）整備工事」における設計・施工一括発注公募型プロポーザルの参加者に求める企画提案の前提条件となる要求水準を示すものである。

公募型プロポーザルの参加者は、この要求水準書に明記されている事項を満たした上で、企画提案を行うことができる。また、審査の結果、「奥能登未来創造センター（仮称）（設計・施工）整備工事」を請け負った者は、工事期間にわたり要求水準を遵守しなければならない。

2 工事名

奥能登未来創造センター（仮称）（設計・施工）整備工事

3 工期

契約締結の日から令和10年3月31日まで

4 内容

高校生のみならず大学等高等教育機関や企業等民間団体とともに活動を行うための教育施設であり、教育用途での利用のない時間帯には様々な事業活動等にも有効活用できる施設として、以下の施設整備に係る設計及び施工の実施

- (1) 高校生が参集する大研修室や教室、配信スタジオを備えた教育施設の設置一式（設計、施工）
- (2) 上記(1)の設置に必要な敷地の整備、付帯設備等の工事一式（設計、施工）

5 要求水準

基本事項

(1) 提案要求部分

① 利用対象者

奥能登地域の高校生や大学等高等教育機関に通う学生・研究者、企業等民間団体への従事者等

② 設置場所

能登空港（石川県輪島市三井町洲衛10-10-4）に計画すること。

【別紙1】建設計画位置図参照

③ 想定する用途

ア 大研修室、教室 A について

・大研修室は5校の生徒1学年（同行する教員等も含め約250名）がバス等で参集し、5校共通の学校設定科目である「奥能登学（仮称）」や「総合的な探究の時間」で合同の教育活動を実施する居室とする。

・また大研修室及び教室Aでは、センターを活用する企業や大学等高等教育機関等の団体を生徒の探究活動とも接続し、産学連携型の教育活動を企画・実施する（具体的には、能登地域内外で活躍する企業人・研究者等の多様な外部人材を講師とする「社会共創ゼミ（仮称）」を、放課後の時間等を活用して、対面・オンライン双方で実施することを想定する）。

・生徒利用以外の時間は、センターに隣接し、能登で起業を準備する人材の長期滞在拠点（I DO NOTO BASE）に入居する起業人材や、能登半島における事業開発に取り組む事業者等のコワーキングスペース・貸オフィス・イベント会場としての活用や、金沢大学 能登里山里海未来創造センター等の高等教育機関における能登地域でのフィールドワーク等の現地拠点やセミナー会場等としての活用を想定する。

・こうした想定のもと、合同の教育活動として講義形式と簡易なグループワーク形式双方が実施できる空間とすること。上記のような合同の教育活動中に利用者が情報収集等のため図書を参照できるよう、壁に図書開架スペースを設けること。

・利用者が遠隔でのやり取りやPCを繋いで画面共有しながら学習するためのモニターを壁側に複数設置するため、図書開架スペースの配置については留意すること。

・内装については、この壁面の設備を含め、探究活動が充実したものとなるようコミュニケーションを促進するデザインとすること。

イ 配信スタジオについて

・大学進学のために必要ではあるが各高校単独では開講できない科目や、習熟度別での対応が求められる科目をセンターから配信するための居室とする。

・大型モニター、自動追尾型カメラを内蔵したオールインワンデバイス等の5校への同時双方向型の遠隔授業配信を可能とする環境を整備すること。

ウ 教室 B について

・生徒が外部講師等の指導のもと、先端的なテクノロジーを用いて行う探究・創作活動を実施する、いわゆるファブラボ機能の居室とする（高校生の利用を優先するが、この場所を利用する大学等高等教育機関や企業等民間団体の利用も想定する）。想定する活動としては、ロボット等の試作、スマホアプリ（Android や iPhone 等）、Web 関連（PHP, JavaScript, HTML, CSS）、オープンデータ、オープンソースの活用等、Unity や Blender で 3D 作成、動画制作や音楽制作、Python ゲーム作成、e スポーツ等を想定する。短期的には、主に放課後の教育課程の想定だが、将来的な教育課程での活用も想定する。

エ 将来の拡張性について

・将来、建設計画地の西側及び南東側の隣地に整備される可能性のある別建物と渡り廊下の設置といった連携が可能な余地を持った計画とすること。